

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

vol.15

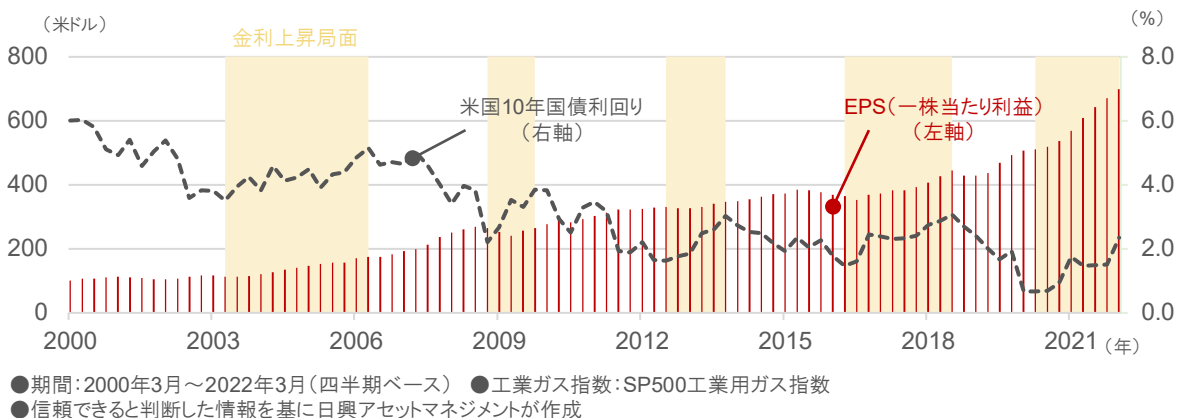
“価格支配力”を有する企業という観点から、 水素関連業界に注目する

インフレによる景気後退を懸念する声が大きくなるなか、値上げ力とコスト抑制力(=価格支配力)を有する企業に着目する投資家が増えているようです。

水素関連業界にも、価格支配力を有する企業が多数存在します。たとえば、水素分野に大規模投資を行なう工業用ガス企業です。売上高上位4社(英リンデ、仏エア・リキード、米エアー・プロダクツ、日本酸素)が世界シェアの約8割を占める寡占市場であり、参入障壁の高さやクリーンエネルギー需要の増加などが価格支配力の背景となっていると言えそうです。

工業用ガス株指数のEPS(一株当たり利益)は、拡大を続けています。さらに、過去の金利上昇局面においてもその傾向は変わらないことから、インフレ耐性があるセクターとも言えそうです。「カーボンニュートラル」や「エネルギー安全保障」といった切り口に加え、「価格支配力」という観点からも水素関連業界に注目されてはいかがでしょうか。

■工業ガス指数のEPSと米国10年国債利回りの推移



※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。